

2016 年度決算報告

売上高 188,062 百万円、経常利益 845 百万円

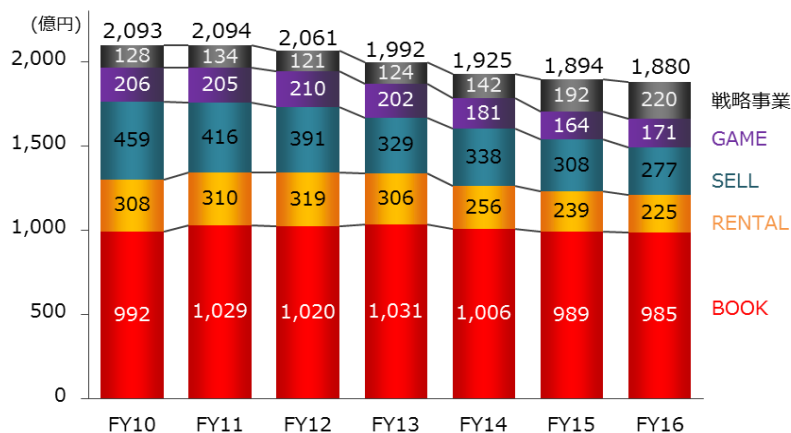
TSUTAYA 店舗で取り扱う商品の商物流事業会社、株式会社 MPD（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 奥村景二）の 2016 年度の売上高は、188,062 百万円（前年比 99.3%）、経常利益 845 百万円（前年比 115.8%）の減収増益となりました。

出版物の推定販売額が前年比 96.6%、映像ソフトの販売額は同 94.1%、GAME 業界同 93.3%となり、業界全体が伸び悩む中、当社の既存取引は厳しい状況にあります。このような状況の下、売上高については、戦略事業として FY16 4 月に株式会社 TSUTAYA STATIONERY NETWORK（現 株式会社 TSUTAYA）から事業譲渡を受けた文具雑貨事業や、モバイル物販の新規アイテムが押し上げた一方、既存事業の落ち込みをカバーするに至らず、減収の結果となりました。

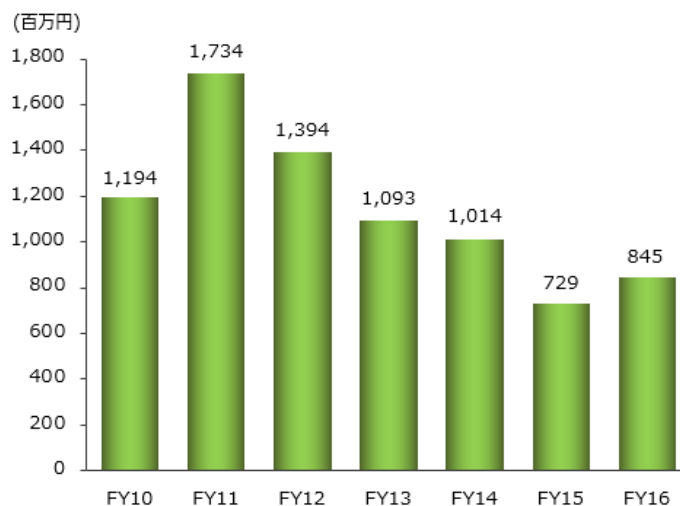
また、経常利益については、上半期から継続して、業務の効率化および固定費の圧縮に努め、2011 年度以来 5 年ぶりの通期増益決算となりました。

2010 年～2016 年度売上高・経常利益推移

【売上高】



【経常利益】



■ 対処すべき課題と 2017 年度の見通しについて

当社の事業を取り巻く環境は、コンテンツ消費スタイルの変化による業界規模の縮小とともに、急速に変化しています。そのような状況のなか、2015 年度から始まった中期経営計画は 2017 年度に最終年度を迎えます。「変える。」というテーマのもと、「変化と成長の糧となるテーマ」を完遂し、中期経営計画の集大成と致します。

「新しい取り組みへの挑戦」として、CCC の新業態である草叢 BOOKS を運営面でもサポートし、収益性の高い店舗作りに貢献するとともに、引き続き、T-SITE・大型店の出店・運営サポートを行います。文具雑貨事業においては、新規の導入と既存店増床により取引規模を拡大しながら、取り扱い商材の拡大にも取り組みます。

「既存事業の変革」として、BOOK は、引き続き時限再販商品の積極販売をはじめとする出版流通改革をさらに進め、お取引様の収益最大化に取り組みます。アウトレット事業では、利益拡大に向けて商品の調達を強化し、EC 販売も拡大致します。

「インフラ進化」としては、物流拠点の各機能を見直し、引き続き多種多様なアイテムに対応しながら、お客様価値の高いサービスを実現してまいります。

2017 年度も厳しい環境が見込まれますが、上記戦略テーマに取り組む事で当社がお取引先様と共に成長することを目指してまいります。

《株式会社 MPD 概要》

本社所在地 東京都渋谷区南平台 16-17 渋谷ガーデンタワー13 階
代表者名 奥村 景二
事業内容 ・書籍、雑誌、音楽、映像ソフト、ゲームソフト等の卸販売
・エンタテインメント関連商材の卸販売
・関連商材の卸販売、中古品（音楽、映像、ゲームソフト等）の売買
・レーベル事業

<本件に関するお問合せ窓口>

株式会社 MPD 経営支援本部：北見、川越

TEL 03-5784-5050